

学校だより

あいかわ なかはら



令和7年 6月5日(木)
愛川町立愛川中原中学校
愛川町角田210
Tel 046 (286) 2710
発行責任者 中村 慎輔

「勉強」と「学び」

校長 中村 慎輔

前号で、以下の4つの体育大会の教育的意義を意識して、心も体も成長できる体育大会にしてくださいと書かせてもらいました。

1. 運動能力・体力の向上と健康増進
2. 協調性・連帯感の育成
3. リーダーシップ・フォロワーシップの育成
4. 自己肯定感・達成感の向上

生徒の皆さんは、一人ひとりの成長とともに、クラスとしてもさらなる団結力や絆を深めることができた、実りの多い、素晴らしい体育大会を作り上げてくれました。体育大会での成長を、これからの日々の学校生活にぜひ生かしてほしいと思います。

6月12・13日には、1学期期末試験が行われます。大きな行事もひと段落ですから、ここからしばらくは、「学習モード」に突入です。「勉強は苦手だ、期末試験いやだなあ。」という人もいるかもしれませんが、ここまでの学習の成果を確認する貴重な機会です。勉強が苦手という人もいるかもしれませんが、体育大会同様、期末試験も自分の成長の機会としてとらえ、前向きに取り組んでほしいと思っています。

「勉強」と「学び」という2つの言葉について考えてみましょう。両方とも同じような意味だと思っているかもしれませんが、実はよく調べてみると意味は違うのです。

「勉強」の語源は「無理を強いる」という意味です。商売をしている人が商品を値引きすることを「勉強する」と言います。つまり、「無理をして」商品を値引きするという意味です。

一方、「学び」は、単に知識を覚えるだけでなく、好奇心や興味を持ち、自発的に探求する行為を指します。この2つを授業に当てはめてみると、「勉強」は「無理やり」やらされているイメージ、「学び」は、自分から進んで学習するというイメージです。

愛川中原中学校の目指す生徒の姿に「自ら考え、主体的に行動できる生徒」というのがあります。これからの時代、生成AIの台頭など、受け身になってしまうとコンピュータをはじめとする機械に「使われる人間」になってしまいます。そうではなく、コンピュータや機械を上手に使いこなして豊かな生活、幸せな人生を送れる大人になることを願っています。

みなさんには授業を通して「勉強」するのではなく、「学び」のできる人になってほしいと思っています。

校内研に向けて

令和7年度、校内研究テーマは「つきたい力を明確にした授業と適切な評価」です。何を学ぶのかが分かりやすい授業と自分の学習への取り組みを適切に振り返ることのできる評価を目指し、生徒一人一人の能力を伸ばすことができるよう授業改善に努めていきます。生徒のみなさんは、いつも通り研究授業でも積極的に取り組んでもらえればと思います。また、生徒インタビューでは、普段の授業の中で、思っている本音を遠慮なく聞かせてください。先生たちの授業力を向上させて、みなさんにとって有意義な授業を創り上げるために協力してください。よろしくお願いします。

校内研究担当の先生より

6月の予定

2日(月) 専門委員会	16日(月) 専門委員会
3日(火) 部長会	17日(火) 壮行会
5日(木) 生徒総会・歯科検診	23日(月) 代表委員会
7日～13日 諸活動停止	25日(水) 研究授業
12日(木)・13日(金) 期末試験	30日(月) 選挙管理委員会

体育大会を終えて

今年度の体育大会は、学年や色の垣根を超えた仲間たちとのつながりが見られました。クラスや学年問わず仲間に掛けた応援の声、勝利を獲得し喜ぶ姿、負けた悔しさに涙する姿、色々な場面を皆で分かち合う姿が印象的でした。この瞬間は体育大会を通して、みんなが本気で取り組み、最後まで諦めずにやり切れたからこそ手に入れることのできた“宝物”だと思います。

この体育大会は私たち生徒だけではなく、協力してくださった先生方や環境整備をしてくださった方々、地域の方々、そして保護者の支えがあり、大成功となりました。生徒の皆さんは、日々の感謝の気持ちを忘れずに、体育大会で得たものを、これからの学校生活、そして紫陽祭に活かして、みんなでよりよい愛川中原中学校を創り上げていきましょう。

協力してくださった皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。無事にみんなで笑顔でゴールテープを切ることができました。ありがとうございました！
体育大会実行委員長

5月24日に、第40回愛川中原中学校体育大会が行われました。赤、青、黄のブロックに分かれ、学年を飛び越えて練習に一生懸命に励む姿や、声を張り上げて、互いを応援する姿は、輝かしいものでした。今年度は愛川中原中学校創立40年を迎える年になります。これまでの伝統を受け継ぎ、自分たちの手でしか創り上げられない行事にしていこうという気持ちを胸に、生徒たちが見せた姿の中には、限られた練習期間の中で、競技ごとに作戦を練り、それが成果として表れた時の喜びに満ちた表情だけではなく、練習したことがうまく発揮できなかった悔しさでいっぱいの表情など、生徒たちが当日に懸ける思いの強さが感じられた素敵な学校行事でした。体育大会を通して得られた協調性を、自分たちの「力」として、これからの学校生活を過ごしてほしいと思います。
体育的行事担当の先生より



教育実習生より

今回の教育実習では、生徒達の成長を通して自分自身にも学びがたっぷり3週間となりました。実習を経て更に学校の先生になりたいと強い志を持つようになり、とても良い経験させて頂きました。ありがとうございました。(R.A)

私にとって、この3週間(多くのことを学ぶ機会)となりました。生徒のみなさんや先生方に支えられ、振り返ると、あという間の3週間だったと思います。反省すべき点も多く、今後の指針としていきたいです。ありがとうございました。(Y.I)

3週間という短い間でしたが、本当にありがとうございました。

みなさんと一緒に過ごしていく中で、沢山のことを学びさせて頂きました。

感謝の気持ちを忘れずに、貴重な中学校生活を大切に過ごして下さい。(A.T)

※愛川中原中学校のホームページの『愛川中原中学校 BLOG』を、随時更新しています。

ぜひ、ご一読ください。ブログは、二次元コードから入ることができます。

